ブラジル朝日新聞

伯國聖市マエストロカルヂン街一一〇九番
ブラジル朝日新聞社
本紙定價年六十ミル
外國郵税共百廿ミル

コロムビア
マークと共に古典の誇れる

戰火の中心バルカンへ

先遣隊は落下傘部隊
獨軍いよ〳〵出動か
伊軍と兩面から挾擊の構へ

（ブダペスト三日米UP）信ずべき筋よりの情報によればドイツはいよ〳〵ギリシヤと國交斷絶の上斷乎イタリアを助けてギリシヤ攻撃を開始、こゝにバルカンより英國の勢力を拂拭し、進んでエーゲ海も清掃、バルカンならびに近東を制壓して英國側勢力を東地中海から一掃する段取りと見てゐる

（ブダペスト＝ハンガリ首府三日米UP）官邊筋の見解では獨伊樞軸側はギリシヤに對しいよ〳〵アルバニア方面とブルガリア側の裏側の兩面から總攻撃を開始するものとしてゐる、しかして獨軍の對ギリシヤ攻撃には再び落下傘部隊を用ゐるものと見られ、何れにしても獨軍の攻撃には飛行機による輸送が大々的に行はれ、恐らくブルガリア乃至ユーゴの上空を通過して直接ギリシヤに進撃するだらうといはれてゐる

ブルガリア通過に獨軍瀬踏み工作か

【ロンドン三日英R】英政府筋では獨軍のブルガリア進駐説に對し、若しもドイツ側がブルガリア領内の獨軍通過を強要すればブルガリアにはこれを拒む力はないとしてるが現在右説に對しブルガリア側が公然否定もせず沈默を守つてゐるのは獨側がかゝる流説を飛ばしてその反響を見やうとする瀬踏みを試みてゐるためで、ブルガリア側としてはそれに乘らぬやう極めて愼重な態度をとりつゝあるものと推察されてゐる

ブルガリア浮説を一笑

【ソフィア＝ブルガリア首府三日米UP】ルマニア國内でブルガリア進入説に關しブルガリア政府筋は取消す必要もないほど荒唐無稽な浮説だと一笑に付してゐる

獨軍に相呼應か赤軍もブルガリアへ

ヴアルナ港に續々上陸

【ブカレストルマニア首府三日米UP】確報ではないがソ聯赤軍はヴアルナ港に上陸、ブルガリア國内に進駐し一方獨軍部隊もブルジヤ方面から同國に進入したとの噂が頻りに行はれてゐる

前大戰の例を踏襲
倫敦に特使を派遣

注目さるル大統領の底意

【ワシントン三日同盟】ルーズベルト大統領は三日前商務長官ホプキンスを個人的使節としてロンドンに特派する旨發表した

ル大統領は右發表に際しホプキンスの派遣はケネヂー駐英大使の後任が決定される間の中繼ぎとして英國との個人的接觸を保つものでなんら特殊使命も權限ももつものではないと述べてゐるが、ホプキンス氏はル大統領とは極めて昵懇の間柄であり、氏の今回のロンドン特派は第一次歐洲大戰當時クイルソン大統領の特派使節として派遣されたハウス大佐の場合のごとくなんらかの重要使命を有するものと注目されてゐる

獨機アイレに飛び首都ダブリンを初爆撃

英本土進攻作戰の足場か

【ダブリン三日米UP】獨空軍は三日も四十八時間にわたりアイルランド各地を爆撃したが、この爆撃においてアイレの首都ダブリンは英獨開戰以來最初の空襲を蒙つた、アイレ政府はドイツに對し中立國侵犯の廉をもつて嚴重抗議を發した、アイレ外務省の發表によればドイツ空軍は三日夜よりカレイ、ジュリアンスタウン、デュリック、モーリス諸都市を猛爆、さらに三日午前三時五十五分にはダブリン市に飛來グライフイス兵營を目標とする五十米の地點に高性能爆彈、燒夷彈を多數投下して北方に飛び去つた、なほ最近アイレ國内にはドイツの英本土進攻作戰は先づアイレの攻略から始められるのではないかとの噂が行はれてゐる

經濟問題中心にまづ原則的討議

日佛印會談第二回目

【東京四日同盟】日佛印東京會談第二回會議は四日午前十時より外務次官々邸において開催、わが方より松宮大使、水野通商局長、佛國側よりロバン特派使節團長、クーザン副團長その他出席、主として松宮大使とロバン團長との間に前會に引續き經濟問題に關する原則的討議を行ひ正午散會した、次回會談は來る七日開催の豫定であるが、具體的問題に關する協議は同會談以後において行はれるものと見られる

東京會談皮切りに佛印に關稅自主權

佛政府、官報に公表

【ヴイシー三日同盟】フランス政府は四日付官報をもつて後諸外國同樣フランス本國より一九四一年一月一日から佛印の輸入物資に對しても從價に關稅自主權を與へ佛印は今

新任駐濠公使に河相達夫氏を起用

閣議で決定近く發令

【東京四日同盟】松岡外相は初代駐濠公使を人選中のところ無任所公使河相達夫氏を起用するに内定、舊臘濠洲政府よりアグレマンも到着したので廿日閣議で正式決定の上發令される

又も内閣を改造

ベタン主席獨裁へ

【ヴイシー三日同盟】舊臘ラバール首相の被免以來佛内閣の再改造は必至と見られてゐたが、三日ベタン主席はいよ〳〵改造を斷行、主なる顔觸れを次の如く發表した

内相ダルラン提督、國防相アンチジエ將軍、外相兼經濟相フランダン

新春を飾る大相撲
春場所新番付決る
双葉、男女東西入替り

【東京四日同盟】紀元二千六百一年の新春初頭を飾る春場所大相撲はファン待望のうちに來る十日初日蓋開け、向ふ十五日間兩國國技館で擧行されるが、協會ではこれに先だち四日午前五時左の如く新番付を發表した

横綱 男女川 東方 横綱 双葉山 西方
大關 安藝海 同 大關 羽黒山 同
張出大關 五ツ島 同 關脇 照國 同
張出關脇 前田山 同 小結 名寄岩 同
小結 出羽湊 同 張出 旭川 同
小結 前頭 佐賀花 同 前頭 笠置山 同
前頭 龍王山 同 大浪 同
大關 櫻錦 同 青葉山 同
大和錦 同 鶴ケ嶺 同
綾昇 同 玉ノ海 同
藤ノ里 同 稲甲 同
相模川 同 富士嶽 同
綾若 同 桂川 同
前頭 神武山 同 松浦 同
東山 同 大潮 同
兩國 同 佐渡島 同
松ノ里 同 鯱ノ里 同
鹿島洋 同 小松山 同
十三錦 同 備州山 同
駒ノ里 同 錦谷 同
大邱山 同 九山 同
增位山 同 松濱 同

編成に苦心の跡
無理した新番付
片方に大關が三人

【東京四日同盟】新番付で東西入替り、男女川東軍の總帥となり、双葉山が西軍の總帥となつた、双葉山はスツカリ自信を恢復してをり今場所優勝の第一人者たることは間違ひないところ、男女川もまた近頃猛稽古を勵んでゐるので強豪ぶりを示すかも知れぬ、強豪ぶりを示すかも知れぬ、番付は相當無理をして編成新番付は相當無理をして編成した、苦心の跡が見え前場所より三枚目力士を東西一名づゝ増し大隅力士を東西一名づゝ増し幕内力士を東西一名づゝ増し廿五枚づゝとした上、張出を東三枚、西二枚として纔かに苦境を切り拔けてゐるやうだ、まづ羽黒山の正大關は問題ないとして前田山、安藝海五ツ島の三大關をどう處理するか興味をもつて見られてゐたが、蓋をあけて見ると安藝海が正大關、五ツ島、前田山はともに東方で張出され、番付の體裁から云つても無恰好なものになつてゐる、しかし片方に三大關がゐるのは大正八年以來廿三年目である、關山に錦谷の四力士であるが、脇では照國は問題なく東方肥州山の昇進は異數の拔擢である、前場所筆頭笠置山一點、二枚目出羽湊五點、次の肥州山の五點とも勝越しとなつてをり、笠置山は据置きとして前點で上位の出羽湊を小結に後進の肥州山を關脇にしたことは地方巡業の成績やその他幾分政策が加味された結果と思はれる、名寄岩一點負越し五ツ島の三大關をどう處理するか興味をもつて見られてゐたが、蓋をあけて見ると安藝海が正大關、五ツ島、前田山はともに東方で張出され、番付の體裁から云つても無恰好なものになつてゐる、しかし片方に三大關がゐるのは大正八年以來廿三年目である、關山に錦谷の四力士であるが、脇では照國は問題なく東方肥州山の昇進は異數の拔擢である、前場所筆頭笠置山一點、二枚目出羽湊五點、次の肥州山の五點とも勝越しとなつてをり、笠置山は据置きとして前點で上位の出羽湊を小結に後進の肥州山を關脇にしたことは地方巡業の成績やその他幾分政策が加味された結果と思はれる、名寄岩一點負越し五ツ島の三大關をどう處理するか興味をもつて見られてゐたが、蓋をあけて見ると安藝海が正大關、五ツ島、前田山はともに東方で張出され、番付の體裁から云つても無恰好なものになつてゐる、しかし片方に三大關がゐるのは大正八年以來廿三年目である、關山に錦谷の四力士であるが、脇では照國は問題なく東方肥州山の昇進は異數の拔擢である、前場所筆頭笠置山一點、二枚目出羽湊五點、次の肥州山の五點とも勝越しとなつてをり、笠置山は据置きとして前點で上位の出羽湊を小結に後進の肥州山を關脇にしたことは地方巡業の成績やその他幾分政策が加味された結果と思はれる、名寄岩一點負越し五ツ島の三大關をどう處理するか興味をもつて見られてゐたが、蓋をあけて見ると安藝海が正大關、五ツ島、前田山はともに東方で張出され、番付の體裁から云つても無恰好なものになつてゐる、しかし片方に三大關がゐるのは大正八年以來廿三年目である、關山に錦谷の四力士であるが、脇では照國は問題なく東方肥州山の昇進は異數の拔擢である、前場所筆頭笠置山一點、二枚目出羽湊五點、次の肥州山の五點とも勝越しとなつてをり、笠置山は据置きとして前點で上位の出羽湊を小結に後進の肥州山を關脇にしたことは地方巡業の成績やその他幾分政策が加味された結果と思はれる、名寄岩一點負越し五ツ島の三大關をどう處理するか興味をもつて見られてゐたが、蓋をあけて見ると安藝海が正大關、五ツ島、前田山はともに東方で張出され、番付の體裁から云つても無恰好なものになつてゐる、しかし片方に三大關がゐるのは大正八年以來廿三年目である、關山に錦谷の四力士であるが、

一九四〇年ドイツの獲得した戰果

ドイツ最高軍司令部（日本の大本營にあたるもの）の發表として二日ベルリン發TO電の報ずる所を要約し一九四〇年ドイツの獲得した戰果を列擧して見るとおよそ次のごとくである、たゞしノルウエ、デンマーク、ベルギー、オランダ、フランスなどすでに知られつくした戰果については改めて述べる必要はないからこれを省き、われ〳〵が知らんと欲して知り得なかつた事實を掲げるに止めておかう

（一）一九四〇年六月廿五日より十二月末日に至る間に於て獨海軍部隊により撃沈せられたる敵艦船三百廿万トン、同じく獨空軍の手によるもの七十万トン、合計三百九十万トン、開戰以來と合して約五百九十万トン、これに對し前述同期間中獨軍の損害は水雷艇三、機雷敷設船五、潜水艦八、其他小艦艇十二となつてゐる

（二）フランス屈服後獨空軍の主標は英本土に向けられたが、八月十五日以後の攻撃の大なるものは前後を通じ一三〇回、各四〇トン乃至七〇トンの爆彈を浴せさらに十一月十五日後は攻勢を倍加し、攻撃の大なるもの八〇回、やゝ劣るもの三二五回におよび、投下爆彈量の最大なるものは一回一五〇トン以上に達し、殆ど全英本土の工業中心地區その他軍事的要衝を爆碎、その抗戰實力を著しく減殺した

（三）獨空海軍の活躍區域は主として對英封鎖線に限り北はグリーンランド附近より南はアフリカ南端におよぶ大西洋海面に及んでゐる

グルー駐日大使近く愈よ歸國か

ル大統領に日米關係を報告

【ワシントン三日同盟】當局筋の洩すところによれば、グルー駐日大使は最近の日米關係につき、ルーズベルト大統領に報告するため近くワシントンに歸還の豫定である、グルー大使はすでに數ケ月前から歸國を希望してゐたが、引續いて起つた重要問題のため任地を離れ得なかつたものでルーズベルト大統領も大使から日本の政策につき直接正確なる觀見を徴するとゝもに三國同盟締結後の諸問題についても意見を叩くべく希望してゐるといはれる

望月奎介氏

【東京四日同盟】參議元内務大臣望月奎介氏は舊臘來風邪のため療養中であつたが急性肺炎を併發、一日午前四時逝去した、享年七十五

敵陣を痛撃

荒鷲年頭を飾る

【〇〇基地二日同盟】わが南支陸鷲各部隊は元旦を期し廣東省東江沿岸に出動、前線部隊と協力のもとに各所の敵陣を痛撃し輝かしい戰果を擧げ聖戰第五年の門出を飾つた

Caixa Postal, 1602
ARMAZEM KAIKO LTDA
SÃO PAULO

Armazem Kaiko Ltda.
Secção de Adubos
Caixa Postal, 1602 - São Paulo
新種子
青大長胡瓜
レポーリヨ海興
カキバ大根
新種子が大量入荷致しました
多少に拘ず御用命の程願上げます

ELECTRA O MELHOR RELOGIO SUISSO
UNICOS DEPOSITARIOS
JOALHARIA CASA CASTRO
RUA 15 DE NOVEMBRO 61 - ESQ. ANCHIETA
寶石商
カーザ・カストロ
總領事館、ブラジル拓植組合、海外興業會社、各地小學校並に運動團體より御買求めの榮を賜る

BANCO AMERICA DO SUL LTDA.
CAPITAL 1.000.000$
南米銀行
支店
アラサツーバ ブロミツソン ボンベイヤ
マリリア プルデンテ リベロンプレト
バストス バウルー ロンドリーナ
チエテ パラクアスー
オウリニヨス ランシヤリヤ
特種
全預金
利子毎月拂
本店 S. PAULO=PRAÇA DA SE 393. C. Postal 555 Tel. 3-5161

輝く聖戰第五年の門出

海鷲大擧し昆明へ 本年初の空襲敢行

飛行場、發電廠を木ッ葉微塵

（佛印〇〇三日同盟）南支艦隊報道部發表によれば海軍航空部隊は二日大擧昆明を空襲、水力發電廠、飛行場、軍官學校施設を爆擊粉碎せる外、敵五機を炎上せしめた

（佛印〇〇基地四日同盟）新春二日久方ぶりの快晴を惠まれたわが佛印進駐海軍部隊の精鋭〇〇機は大擧して昆明を空襲、今年度初の攻擊を試み赫々たる戰果を擧げて全機無事歸還した

即ち竹田部隊は昆明西南六キロの昆明水力發電廠に初の巨記攻擊を敢行甚大なる戰果を擧を集中これを完全に粉碎、瀬戸部隊は昆明飛行場及び軍官學校施設を爆碎した、さらに引き續き小畑部隊は昆明飛行場に低空飛行をもつて巧みにカムフラージュしてあつた地上の敵機を擊破炎上せしめた、わが海鷲の攻擊は熾烈を極め新春既に敵の心膽を寒からしめた

【東京四日同盟】海軍航空部隊は二日大擧昆明を急襲、左記攻擊を敢行甚大なる戰果を收め無事歸還した

一、竹田指揮下の率ゐる菅原吉之、瀧伴、金田、花本の各部隊は昆明水力發電廠を爆擊これを粉碎せり

二、瀬戸指揮官の率ゐる飯島末弘、鈴木の各部隊は昆明飛行場を爆擊炎上せしめたり

三、小畑部隊は昆明飛行場の地上に隠蔽しありたる敵機五機を炎上せしめたり

正月を期し敵逆襲 我猛擊に忽ち敗退

頻りに春季攻勢を宣傳

【南京三日同盟】支那派遣軍報道部三日發表、十二月廿八日以來本日に至るまでの支那事變情勢の概況左の如し

支那大陸に第四回目の正月を迎へた皇軍將兵は不退轉の決意と證判たる鋭氣に燃えてゐる、昨年末中支南昌西方五十キロの嶮嶮地區に蠢動の敵約一萬はわが空襲部隊の緊密なる攻擊により各處に潰滅せられた、南支陸驚部隊は元旦を期して廣東省東江沿岸に出動、前線部隊と緊密なる協力のもとに各所の敵陣を爆擊した、例年の例によると正月を期してわが軍に對し攻擊し來るを年行事としてゐるが本年もその例にもれず申譯的に江北安慶方面、杭州方面に一部出擊し來つたがわが一擊にあつて敗退し全線わが鐵壁の陣に支へられてゐる、敵は盛んに春季攻勢を宣傳してゐるが、これは奢力の誇示、國共相剖の隠蔽財政困難および和平空氣の底流などを糊塗するにはゆる空宣傳の類と稱すべきであらう

日蘭會商幕開く

わが方提案を中心に交渉

【バタビヤ四日同盟】バタビヤに芳澤使節は二日午前九時モーク經濟長官以下蘭印代表と第一回會談を行ひ、會商の手續きその他實際的事務について打ち合せを行つた、確聞するに日本側提案は近日中に蘭印側に提示される筈、この提案を中心にして六日以後交渉が進められる筈である

【バタビヤ三日同盟】芳澤使節は二日午前十一時飯澤總領事を訪問、四十分にわたつて會談を行つた、會談終了後芳澤使節は總領事館で邦人記者團に對し左のごとく語つた

私は總督に敬意を表した後日蘭關係に横はる諸懸案に關し大乗的見地に立つて日本がいかに考へ、いかに希望するかを述べたが、これに對し總督は蘭印側の立場と見解を詳細に語り、特に總督は眞摯な抱負を來るべき日蘭會商に當つても友好をもつてすべきことを強調した

朝日特派員ら御難

英官憲に所持金、信書沒收さる

わが外務省事態を重視

【東京三日同盟】朝日新聞特派員笠信太郎ほか七名の邦人が米國汽船エキスクリバーザ號でドイツに渡航の途、舊臘によれば英官憲は右沒收處分の理由として敵國ドイツに金が流入することを防止するためであつて本件に關する交渉は在リスボン英大使館になされたい旨を述べてをり、外務省でも事態を重視し詳細判明次第適當の措置に出る方針である

【東京三日同盟】朝日新聞所持金八人分合計五千米ドル泊中同地の英官憲に取押へられ信書、パスポートならびに

海南島戰果

【東京四日同盟】南支艦隊報道部發表、海南島における十二月中の戰果左の如し

敵遺棄死體一四四三、捕虜一三三、鹵獲品＝小銃二〇四、彈藥、銃彈など多數

眞つ白いライオン

小倉の動物園で生る

全く珍しいです

小倉市到津動物園の牝ライオン有明夫人昨年正月赤ちゃんを生んだが、このほどまた三頭を生みうち一頭はなんと毛並が雪色に艶々と輝く純白のライオンだ、同園でも餘りの珍現象に吃驚、何かの瑞祥でないかと歡聲をあげてゐる、この有明夫人は昭和十年六月に同園に「龍田君」と同棲して以來六回目のお產で、合計十八頭の多產記錄を誇つてゐる、大阪市立動物園筒井理學士の話

白いライオンとは珍しいですね、通常ライオンの仔は黄色いうへに黑色の斑點があるものです、結局アルビノ（色素缺乏症）ぢやないでせうか、實物を見ないと何ともいへませんが、純粹のアルビノなら眼は赤いはずです、當園の白狸、白牛白孔雀いづれもアルビノですがライオンのは前代未聞です、たゞ豹には雪國に棲息する雪豹といふ眞白なのがゐますが……まさに珍重ものですね」

蠶の口から繰糸

一學徒見事に成功

蠶は勿論およそ糸を吐く虫で繭を作らず直接虫の口から糸をとる方法を研究すること十年見事成功した一學徒がある宮崎高等農林學校動物學教室中島茂助教授がその人で、昭和二年以來研究に沒頭、東大動物學教室鏑木教授の指導で最後の研究をつゞけた結果、このほど完成「絹糸虫より直接繰糸する方法」の特許を獲得した

吐糸管にある種の處置を與へることによつて吐糸管からこの方法によつて採取した糸は繭から採つた糸に比較して光澤あり、かつ全然節のない立派なもので中島氏はいたるところに棲息する「野の吐糸虫」から工業的大量に採糸できる日がきつと來るといつてゐる

最高級食欲促進榮養劑、ファロラマ特効あり
規那鐵、カルシューム（トレンチーニ製劑）
サン・パウロ・レイルウエイ線サン・カエタノ驛 電話103

素晴らしい評判の
料亭 富美の家
女給さん募集
聖市タバチンガーラ街七十二番電話二七六二番

Dra. G. Calasans
Cirurgião Dentista
齒科 荻原
ルア・セーレス二六
中央メルカード前

赤星
大工、指物請負
裁縫教授仕立
聖市コンデ・デ・サルゼーダス街五七
電話二一・八三三四

時計店
Luiz Russo
直輸入・卸小賣
修繕、確實、正確
齒科用金寶却
R. Quint. Bocayuva, 73
Phone 2-1495
SÃO PAULO

齒科
コンデ・ド・ピニヤール二三五
ラボラトリオ・デンタリオ 岡山

出張は節の聖は是非館へ
熊本旅館
館主 園田吉之助
聖市コンデ・ド・ピニヤール街八九
電話 二一七五五八番

Loja das Machinas
R. Quint. Bocayuva, 201
Teleph. 2-1894
São Paulo
現金出納器、タイプライター、計算器、金庫、アルキーボ、事務所用家具、裁縫ミシン、其他諸機具多數
▼賣買交換、値段至廉▲

RADIO
新古販賣 電氣器具安く御交換、修繕 立派に致します
聖市フランシスコ・ミケリーナ二五五 電二三七七
帝國領事館から百米
技術者 中原善雄
元イタリア技術者

グスリ 日本藥局
聖市コンセリエイロ・フルタード街十五番
電話 三一二三五一

下元法律事務所
民事、商事、刑事、產業組合法
Dr. Cassio Kenro Shimomoto (Advogado)
Dr. M. C. Ferraz de Almeida
Largo da Misericordia, 2 Sala 300
Tel. 4-0084 - S. Paulo

Cine Santa Helena
今日の映畫 - Praça da Se -
各種週刊ニュース（飛行便着）
Promotor Acusa
ロバート・カミング、ヘレン・マック主演 コロムビア冒險映畫
午后二時より連續上映
晝2$000, 1$000, 夜2$500, 1$500)

正賀
内外雜貨、食料品、農藥品
インテルナシヨナル農具會社代理店
カーザ・サトオ
佐藤直
パウリスタ線ジヤポチカバール市

正賀
栃木 北助次郎
下小牧末吉
平野正平
イツベラアバ驛ミゲロポリス町郵便十五番

各位
謹んで新春を賀し奉ります
昨年中は各位共一方ならぬ御配慮を忝うし厚く御禮申上げます
扨て不測の事情より荏苒月日を經過して參りました拙著皇紀二千六百年記念在伯同胞發展錄は御蔭を以てその後事無く進渉、昨年迄に全部の調査を終へるに至りました、依つて新春早々元聖報記者として御馴染みの藤井卓治氏に依頼し既に編輯に取掛り逐次印刷所に廻付致す事となりました
恐らく三月下旬迄には發行の上、皆様の御手許に配本出來る豫定で御座います
茲に御挨拶旁々右報告申上げます
昭和十六年一月五日
同胞發展錄
著者 伊丹金藏

移轉擴張御挨拶
謹んで新春を賀し奉ります
扨て弊館事豫ねてより皆様の御引立を蒙り、創業以來早くも七年の歳月を經て參りました、御蔭を以て家業は日增しに繁昌致し常に滿員の狀態で到底皆様の滿足に應え得ず甚だ遺憾に存じて居りました處、今回
コンデ・ド・ピニヤール街七八番
Rua Conde do Pinhal, 78 (中矢商店通り)
に二十數室を含む閑靜な家屋を借り受け、新春早々此處に移轉致しました、申すまでもなく日本人街の中心に位し、市内御見物、歸國、その他の諸手續、病院・醫師の御世話等に頗る便利に加へて、聖市の風景を一眸に納める眺望は一層皆様の御滿足に副ふ事と存じます
從前以上のサービスを以て皆様の御來館を御待ち致して居ります、何卒倍舊の御愛顧御引立の程伏して願上げます
先づは新春の御挨拶を兼ね移轉擴張の御披露申上げます
昭和十六年一月五日
九州旅館
館主 水本順太
聖市コンデ・ド・ピニヤール街七八
電話 二・七〇一二

堅實無比
PRUDENCIA CAPITALIZAÇÃO
Cia. Nacional para Favorecer a Economia
Capital realizado rs. 2.250:000$000
Rua Senador Paulo Egydio, 15 - Caixa Postal, 1843
SÃO PAULO
伯國唯一
一年の計は元旦にあり
貯金第一
貯金は必ずプルデンシア貯蓄銀行へ
十二月抽籤報告
當籤組合文字
Plano "B" do 1°. ao 6°.
1) U I 18
2) G P 26
3) P M 21
4) Y R 21
5) V Q 12
6) M L 24
do 7°. ao 12°.
7) O R 36
8) S V 25
9) A I 9
10) D S 34
11) C G 29
12) R P 5
Plano "A"
1) K N Ej
2) C O Hj
3) O Z Aj
4) D M Fj
5) Z S P
6) O N Cj
7) G Z X
8) T M Q
五コントス當籤者 ソロカバナ線サントアナスタシオ驛 佐藤美彌子殿

月掛金壹ケ月分前納の加入者にはダルマ型美術貯金函を贈呈致します
外交員數名募集
履歴書持參本人來談
高度の信用
内容の充實
プルデンシア貯蓄銀行
日本人部

あすかから

全伯邦人 中堅青年養成講習會

しっかりやらう 土に結ぶ若き情熱

集ふ二十三地方の青年

遠くミナスをはじめ

既報、産組中央會ではこれまで數回にわたり青年講習會を開き農村青年に對し「土の再認識」をせしめて來たが先般當局よりクルゾ・プラチカ・グ・アグリコラとして正式許可が下りたので全伯邦人中堅青年養成講習會の開催準備を進めてゐたが、いよ〳〵あす六日からコチヤ小學校において全伯各地の中堅青年を集めみつちり土の精神を植えつけ次の時代を背負ふ指導者として送り出すことゝなつた

集ふものは各地からのより抜きの中堅青年七十餘名、遠くミナス州、パラナ州をはじめ二十三地方に及んでゐる、先づ一月六日午後二時開會式を擧行し引續き茶話會、寄宿舎で自治打合せ會を催して第一日は終る翌七日から二十日迄の二週間午前七時より午後の九時までみつちり學科に實習に拓士魂の講習を受け、二十一日に解散それ〴〵多大の收穫を土産に各地に歸ることになつてゐるが産組中央會理事長脇山黃作氏もも一月十四日のもんてびでおそれで日本より歸伯するので新體制下の日本の産組近況について特別に講演する由、なほ邦人側の講師と講習課目は次の通り

講習課目と講師

青少年指導　葛岡　唯雄
在伯邦人青年運動　野村忠三郎
農村衛生　奥村　博士
農産加工　野元農學士
油脂作物　北村　技手
繊維作物　同
養鶏に就いて　古田土、仲川
土壌と肥料　野元農學士
農業經濟　服部農學士
農家と簿記　井上農學士
産組概論　佐々木技手
産組法規　堀　清
産組の經營　下元　健吉
在伯邦人産組の特質　同
日本産組界の近況　脇山　黃作

在伯邦人 體育協會

新體制樹立へ前進

各支部は至急登録せよ

期限は十五日まで

事務局では新年に入ると共に新しき規則を發布しスポーツ界の新體制に乗出すことになつたが、全伯邦人體育協會本部では右に即應しこのたびの如く發表してゐる

▲體協に加入した場合の利益

一、極く僅かの經費で本部の絶對責任下に當國スポーツ法令に則つて何の故障もなく圓滑なスポーツの運行が出來る（地方官憲關係その他問題のあつた場合本部が進んで解決する）

二、體協支部として加入し得る團體のみ體協主催の諸スポーツ大會に出場し得る權利を有す（體協本部に加入せざる團體會員は全伯大會等に出場する事を認めない）

▲體協に加入した場合の義務

一、毎年體育局登錄費用として一團體伯貨二十ミルを負擔する（登錄許可證は許可あり次第各地方支部に送付する）

二、地方支部會費は次の標準に基く

支部會員三十人迄年額一〇〇ミル
同五十人　同　一五〇
同百人　同　二〇〇
百人以上二十人を增す毎に二十ミル增となる（右は毎年八月迄に納入の事）

▼加入申込規定

團體名、會長名（生來の伯國人或は第二世）理事長名（二名）明記し登錄費用二十ミルを添へ至急一月十五日迄聖市本部に着く樣に送付の事

なほ一九四〇年度登錄の豫定で伯國二十ミル納入濟みの團體は一九四〇年度の登錄を見合せすることになつたので登錄料の送金は必要ない（但し會長名その他は通知が必要）

ニュース関係の各團體でその他のスポーツは體協に加入してゐないので體協では取扱つてゐない

瀬川技師殺害の兩刑事に

廿四年十三年の判決

被告側不服を唱へ抗告

共榮會カンポス發電所瀬川技師を職權濫用により殺害したアルヴァロ・ゴエス、クリスチアニ・ヴァレ兩刑事はリオ市裁判所第十三號法廷において前者は二十四年、後者は十三年の懲役の判決を下されたが、被告側弁護士はこれを不服として抗告することになつた

在伯邦人の態姿

總領事館管内の巻

（2）

これは不思議だわい

一人も居ない女給さん

調査結果を職業別に見れば……

さて次に管内の邦人を職業別に見ると、日本人三四名を筆頭に次いで聖市近郊四、二五五名、セントラルの順である、日本語教授の許されてゐるサンパウロ市を含んでゐるだけあつて教育關係者は男一五四名、女子二三名となつてゐるのは旅館、酒類、娼妓の都が全然ブランコであることで、あの六十名近いソンサとウヨ〳〵してゐる女給さん達は一體何處に居るのかへであらう、其うちでもソロ線の一六、八三四名を筆頭に次いで聖市近郊四、二五五名、セントラルの順である、日本語教授の許されてゐるサンパウロ市を含んでゐるだけあつて教育關係者は男一五四名、女子二三名となつてゐるのは旅館、酒類、娼妓の都が全然ブランコであることで、あの六十名近いソンサとウヨ〳〵してゐる女給さん達は一體何處に居るのかあるのだからそれはあたりまへであらう、其うちでもソロ線の一六、八三四名を筆頭に次いで聖市近郊四、二五五名、セントラルの順である、日本語教授の許されてゐるサンパウロ市を含んでゐるだけあつて教育關係者は男一五四名、女子二三名となつてゐるのは旅館、酒類、娼妓の都が全然ブランコであることで、あの六十名近いソンサとウヨ〳〵してゐる女給さん達は一體何處に居るのかあるのだからそれはあたりまへであらう、其うちでもソロ線の一六、八三四名を筆頭に次いで聖市近郊四、二五五名、セントラルの順である、日本語教授の許されてゐるサンパウロ市を含んでゐるだけあつて教育關係者は男一五四名、女子二三名となつてゐるのは旅館、酒類、娼妓の都が全然ブランコであることで、あの六十名近いソンサとウヨ〳〵してゐる女給さん達は一體何處に居るのかあるのだからそれはあたりまへであらう、其うちでもソロ線の一六、八三四名を筆頭に次いで聖市近郊四、二五五名、セントラルの順である、日本語教授の許されてゐるサンパウロ市を含んでゐるだけあつて教育關係者は男一五四名、女子二三名となつてゐるのは旅館、酒類、娼妓の都が全然ブランコであることで、あの六十名近いソンサとウヨ〳〵してゐる女給さん達は一體何處に居るのか

總領事館の調査では一名もサンパウロ管内にはゐない事になつてゐる、いま職業別（五十名以上）にすると左の通り

職業	男	女	計
本業者	五、八三六	二、〇五三	七、八三九
家族	三、一五五	二、〇三〇	五、一八五
農耕、畜産	四、二七七	一、二二	五、四九九
教育關係者	男	女	計
學生練習生	男	女	計
その他有業者	男	女	計
工場勞働者	男	女	計
洗濯業	男	女	計
旅館、料理	男	女	計
自動車運轉手	男	女	計
新聞雜誌記者、著述者	男	女	計
運輸取扱業	男	女	計
醫務に關する業	男	女	計
飲食料品、嗜好品製造業	男	女	計
被服身廻品製造業	男	女	計
大工、左官石工、ペンキ職	男	女	計
物品販賣業	男	女	計
會社員、銀行員、商店員、事務員	男	女	計

商工省派遣 市場調査團

一月十九日到着

聖市滯在は十一日間

既報、商工省派遣南米大西洋岸市場調査團賀屋貿易局技師高吉友次氏を團長とする

▲谷口三樹三郎（桑松商店常務取締役）▲中西佐七郎（日産化學工業株式會社王子工場製藥課長）▲森川覺三（三菱商事機械部第一課長）▲多々良房吉（三井物産雜貨第二課長）▲金内武（高島屋飯田株式會社外國部長）

この一行六名は豫定のレシーフエ上陸を中止し來る十四日もんてびでお丸でブエノスへ直行二月十六日飛行機でリオ・グランデ・ド・スール着、二月十九日同機發飛行機で來聖する、在伯日程は左の通り

二月十九日　サンパウロ着
同二十日より十一日間滯在
二月二日　カンピーナス
二月三日　サンパウロ發汽車
三月四日　リオ着滯在九日間

他奥地視察旅行

抑留の話題を乘せて レシーフエへ入港

過般ポルトガル領ケンポスポルトガルリスボン港よりドイツ製武器を積載、リオ港に向ふ途中英國海軍監視船より停船を命ぜられたその儘約一ヶ月にわたりジブラルタルに抑留されたロイド・ブラジレイロ會社商船シケイラ・カンポス號はさる一日午後一時レシフエに入港した、衆宇新聞記者は英海軍より停船を命ぜられた當時の模れや、ジブラルタルにおける英海軍の緊張ぶり、スペイン、ポルトガルをはじめ歐洲の事情など聞かにきいてゐる

田川氏送別 ゴルフ試合

出場者廿四名

邦人ゴルフ倶樂部ではけふ五日午前八時より近く歸朝する田川東棉支店長の送別試合を擧行するが、試合組合せが左の如く決定した（括弧内はハンデー）

▲第一組…蜂谷（二四）長谷川（二八）高田（三〇）
▲第二組…齋藤（二〇）欠田（二二）島（三〇）
▲第三組…宮坦（一九）菅原（二六）當田（二八）
▲第四組…水上（一七）沖（一八）關田（三〇）
▲第五組…田川（八）高杉（一六）三浦（二五）
▲第六組…小林（二〇）蜂谷榮（二八）宇佐川（三〇）
▲第七組…藤平（一七）蜂谷夫人（一九）茂木（三〇）今木

帳場街

◈…元日の朝グアラナラ港の倉庫が火事を出し三万五千立方米の木材と七百俵の砂糖を烏有に歸したと

◈…聖市コンデ・ド・ピニヤール街七十八番に九州旅館がけふ移轉、新裝をこらしお目見得すると

◈…國勢調査法に違反して罰金を課せられた例が始めてしかも鐵道會社と電話會社の大物で話題を賑はしてゐる、それはレオポルヂナレールウエイとコンパニヤテレフオニカ・ブラジレイラで兩社は市役所から要求された調査事項記入を拒んだ廉でそれ〴〵十コント、五コントの罰金を課せられた

◈…ビネイロス區ミゲル・デ・イササ街の曉星學園では來る十五日から日本語科の新學期を開始するが、入學希望者は一月十日から十四日迄に申込んで下さいと

◈…リンス學園が美化される、增改築豫算六十五コントが計上されてゐるが、そのうち四十五コントは增築費に他の二十五コントで修理改築並に外壁の工事費に當てられることになつてゐる

◈…聯邦ロテリヤではナタールの五千コント當り殘りの中から一千百五十八コントを大統領夫人が中心となつて建設運動を起してゐる虐げられた娘や倫理の女達の救濟機關たる「シダーデ・ダス・メニーナス」建設資金に寄附申出た

迷子の直記君

中矢商店で保護

（二四）

ビネーロス區奥のタンボレーで在住高知縣人野田信重さんは十二歳になる息子の直記君を連れて市内に買物に來たが子供は街の賑やかさにうかれてゐるうちに父親とはぐれ泣いてゐるのを親切な外人が中矢商店に連れて來て目下同店で保護してゐる、親御さんは早速迎へに行つてやつて下さい

モダン化粧品

◀入荷 セボーラ カナリヤ種
昭和十六年度 當用日記（中形、小形）

内外雜貨 化粧品 寶藥 優良種子
リベロン・プレート市 ジョゼー・ボニフアシオ街四七
吉海商店 Rua José Bonifacio, 47 Ribeirão Preto

遍照湯

二大療法

▼湯治法（フロニイレテ）神經痛、リウマチス、婦人病、寢小便、痔疾、せんき

▼局所法（ソノトコロニヌツテ）土カブレ、アセモ、打傷、ハレモノ、フキデモノ、切傷

製劑元祖 神戸市島田大光堂伯國總取扱店 聖市 カーザ富山 イタオカ街十二A 郵函三七八四（ピーラ・マリアナ區）

讓受開店

時下益々御多祥之段奉賀仕り候
陳者私儀皆々樣の格別の御援助により營業日に增し隆盛に赴き候段厚く御禮申上候
就ては此の際一層業務擴張を期し從來經營の場所では手狹く感じ新らたに伊佐眞加利式經營の
バラツカ九番を讓り受け開店
仕り候尚此の上にも勉勵致す考に御座候間何卒一層の御引立に預り度偏に御願ひ申上候

聖市青物市場内　仲本牛

各位樣

新入學生受付

▼日本語
一、尋常一年より高等二年まで
一、一月十日より十四日迄入學受付
一、授業開始一月十五日より

▼葡語初等科
一、一二年生受付
一、授業開始二月一日より

▼寄宿舍
一、滿拾歳以上の男女學生
一、入舍は隨時出來得るも、二月六月の新學期が好都合

▼學生勤勞部
△向學の念に燃えて居る學費乏しき青少年子女達のために設く
△自己の勤勞により將來伯國各種中學校に學ばんとする者、女子は裁縫其他技藝を習得せんとする者

資格…日語尋四修了程度以上の學力を有し、滿拾五歳以上の者

ビネイロス區ミゲル・デ・イササ街四二番
曉星學園 Caixa Postal, 3225 - S. Paulo

急募

店員數名、滿二十五歳迄の方好條件にて募集致します

聖市ビネイロス區 カルデアル・アルコベルデ街二六四一
里見商店

ソロカバナ鐵道購買部ホルネツセ商
セボーラ バタ、の御用命は ソロカバ市 木下商店へ
家畜用 肥料用 米糠 稲粕 廉價取次 リオグランデ ブラツサ・エリアス モンテイロ四六

尋人

原籍 廣島縣安佐郡原村
沖田春三樣
居所御知らせ下さい、尚右御存知の方は左記迄御面倒乍ら御一報下さいませ
パ綿カンピーナス驛郵函三七三 福岡智枝

急募

大工さん 聖市コンデ・デ・サルゼーダス街九十一番 電話二一五九五六 小林忠吉

淋病 如何なる淋病も五日で完全治癒 北米式ケクリング法（洗濯注射を用ひず） 廉價

Dr. H. Fenicio Av. S. João 536-6 and. Tel. 4-1183

Elixir Nogueira Grande Depurativo de Sangue 梅毒妙藥 萬國藥店に有り

急募 機械整調師（アジユスタドール）を求む Secção de Cirurgia Cornelta Ltda. Rua Aurora, 190

GIZ BRASIL Escriptorio : Rua da Quitanda, 76 5.° and. Tel. 2-2539 C. P. 3223
外國製に優る國産白墨 學校、撞球場、洋服店で歡迎されて居ります

よくきく、のみよい 肝油ハリバ

Primeira Escola de Tecelagem Rua Piratininga, 283 - S. Paulo
一月十四日より授業開始
…紡織・製糸科、染色科…
ジャツクアード式圖案科、紡織管理科
◈…通信教授あり…◈
午後七時より十時迄受付

PHOTO-MAURO 高級寫眞館 最もよき 日本人の友 C. Postal, 353 P. Prudente

Cine S. Francisco R. floriano Peixoto, 225 —Sto. Amaro—
▲日本の競技ニュース 正月十日上映 入場料二$、一$
東京の女性

新刊發行 佐藤初江著 菊判三百餘頁
實用的なブラジル式 日伯料理と製菓の友
内容
一、伯國料理並に最高の製菓から日常のお惣菜及極く簡單な製菓法
二、日本料理並に製菓（但し當國産品のみで作れる種類）
三、當國禮儀作法と食品並に器具類の選び方と置方
一九三四年五月に「ブラジル式料理と菓子の作り方」の書を邦人のお台所へお贈り致しましてから早七年を迎へました、爾來諸先生始め有志のお力添へにより此の道のみ研究させて頂きまして前書の不備を補ひ尚一層廣汎に亘る日伯料理法の新刊をこの度發行するを得ました事は偏に皆樣方の御理解と御後援によるものと深く感謝致します次第でございます。ブラジルに在住なされる以上都市農村ともに是非知つて頂かなくてはならない食事衛生並に當國の風習禮儀作法が細々著してございます。願くばより一層御研究下さいまして安價で保健上最上の御料理法を用ひ下さいます樣お願ひ申上げます

生徒募集 新學期 一月十五日開始
課目＝伯國料理製菓▼日本料理製菓▼各國料理製菓▼日伯禮儀作法（每日三時間授業、朝間部、晝間部二回）
普通部＝二ヶ月、自由科（回數によつて授業し自由の時間に通學する法）、特別科＝（菓子料理の職業科）並に（講師としての檢定試驗準備科）
……寄宿舍の設備あり……
公認 サンタ・セシリア割烹學校 聖市トマズ・デ・リーマ街二八一 電話 二＝五四三二 佐藤初江

Redacção e Administração
Rua Maestro Cardim, 1109
Telefh.: 7-3325 e 7-3326 - Cx. Postal 375
SÃO PAULO-BRASIL

BRASIL ASAHI

DIRECTOR: *José Yamashiro*

ASSIGNATURAS:
PARA O BRASIL { Anno . . . . 60$000 / Semestre . 30$000
PARA O EXTERIOR - Anno . . 120$000
ANNUNCIOS — Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços p/ annuncios nesta folha

Anno I | São Paulo — Domingo, 5 de Janeiro de 1941 | Num. 134

NOTAS E EDITORIAES

O director desta folha recebeu do sr. Presidente da Commissão Censitaria Nacional o seguinte telegramma:

Sr. Director Brasil Asahi — Qualidade Presidente Commissão Censitaria Nacional e em seu nome venho agradecer a esse periodico valiosa collaboração que tem prestado serviço nacional recenseamento. Grandiosa propaganda recenseamento cujo caracter educativo nacionalista influenciou todo povo brasileiro não teria produzido taes fructos sem apoio imprensa. Em sua ultima reunião referida commissão deliberou ainda apresentar a essa folha sinceros votos felicidade decorrer anno entrante. Cordeaes saudações. Carneiro Felippe.

***

Sendo amanhã dia sanctificado, o sr. ministro do Trabalho, Industria e Commercio, usando das attribuições que lhe confere o art. 26 do decreto-lei n.° 2.308, resolveu declarar facultativo o trabalho no dia 6 do corrente com relação ás actividades economicas em geral não especificadas em lei.

***

O Presidente da Republica assignou dia 3 um decreto-lei augmentando o imposto sobre phosphoros.

***

O prestigioso jornal bandeirante "O Estado de S. Paulo" festejou hontem, dia 4, o seu 66.° anniversario de fundação.

O novo embaixador mandchú em Nankin

A cerimonia de sua nomeação

Hsinking, 28 (D.) — Tendo sido determinada em caracter não official a nomeação do sr. Liyunhuan, ministro do Interior, para novo embaixador em Nankin, e recebendo o "agreament" do regimen Wang, o governo Mandchú decidiu realizar a cerimonia de nomeação na proxima semana.

Principaes operações das tropas japonezas na China no anno de 1940

Kwantung, 27 (D.) — Communicado official do Commando Geral das forças nipponicas na China do Sul sobre as mais importantes operações militares levadas a effeito no anno de 1940:

As columnas imperiaes que proseguiam nos seus ataques contra os reductos chinezes em Yungyun e Yngtak, alcançaram estrondosa victoria desbaratando por completo os remanescentes changkaichekianos desertados da divisão filiada ao exercito do general Yukanpo.

O general Chang que percebera suas forças serem esmagadas na frente de Kwantung, tentou vingar-se nos sectores meridionaes e concentrou cerca de 100 mil soldados dos exercitos de Kwansi, Central e de Shitwen, afim de retomar Nannei. No emtanto, as forças imperiaes conseguiram dominar o avanço inimigo até a segunda quinzena de Agosto quando iniciaram, com brilhante exito, violentas offensivas contra as posições inimigas.

Essas duas batalhas que causaram irreparaveis prejuizos materiaes ao regimen Chang, muito contribuiram na consolidação do novo governo nacionalista organizado em Nankin.

No mez de Março, foi iniciada a limpeza das regiões Chushan, Chaoshen e a Ilha Hainan.

Em Maio os nipponicos levaram a effeito violento ataque contra os inimigos refugiados nas zonas montanhosas de Kwantung.

Visando, outrosim, a interrupção das rotas de fornecimentos de material bellico ao regimen Chang, o Exercito imperial decidiu enviar no dia 22 de Junho, destacamentos de infantaria para a fronteira da China com Indo-China Franceza. Para proficua realização dos planos estrategicos, as forças japonezas occuparam pacificamente, de accordo com as clausulas estabelecidas no accordo firmado entre o Japão e o governo de Hanoi, varios pontos estrategicos situados nas proximidades da fronteira com a China, completando dessa maneira, o fechamento definitivo de todas as rotas commerciaes do governo Chang que o põem em contacto com postos maritimos.

A importação da seda japoneza pelos EE. UU.

Nova York, 27 (D.) — Segundo rumores circulantes nesta cidade, não obstante as intensas actividades desenvolvidas pelos elementos nipponophobos, no sentido de impedir a entrada da seda japoneza, allegando ser efficiente medida para difficultar a acquisição de ouro extrangeiro que constitue elemento indispensavel para a prosecução das hostilidades com a China, o ministerio da Estado resolveu não suspender o commercio importador da seda natural japoneza.

Todavia, em vista do fracasso da tentativa, consta que esses elementos, visando alcançar seu objectivo, valendo-se do plano cambial recentemente approvado, estão trabalhando intensamente nesse sentido.

O noticiario telegraphico publicado pelo "BRASIL ASAHI" é fornecido pela Agencia Dômei, japoneza.

Desastre de trem na Formosa

Taiwan, 27 (D.) — A' tarde de hoje, o rapido que partiu de Ryuki chocou-se violentamente com o trem de carga que pouco antes deixára Takao, nas proximidades do Kyujo, morrendo em consequencia do desastre cerca de 200 pessoas.

Impressos?
Procure a typographia
NIPPAK-SHA
C. P. 375 — Teleph. 7-3325

CHOQUES ENTRE TROPAS COMMUNISTAS E NACIONALISTAS CHINEZAS

Difficuldades do governo Chang

Taiyuan, 27 (D.) — Informes procedentes de fontes fidedignas divulgam que as tropas chinezas concentradas em Pinghuaichen foram transferidas para Rinhsien, na provincia de Honan, juntando-se com outros contingentes, completando assim o cerco dos remanescentes communistas.

Consta que, tambem nas zonas de Shansi, as hostilidades entre os communistas e os nacionalistas accentuam-se dia a dia e os circulos officiaes chinezes consideram inevitavel um violento choque entre as duas forças.

Hong-Kong, 28 (D.) — Telegrammas de Chungking noticiam que a corrente conservadora, animada com o regresso do sr. Tsaifuhsien, está desenvolvendo intensa actividade anti-communista, organizando uma poderosa associação sob a direcção dos srs. Wangchungwei, Chucheng, Surung, Riwenhan e Tingchiao, todos elles figuras de grande projecção nos meios politicos de Chungking.

Outrosim, as forças centraes chefiadas pelo general Kayngchen com a adhesão do sr. Petsunhsi, aos exaltados, a grande maioria das tropas chinezas de Hopeh, são favoraveis á condemnação rigorosa de todos os insubmissos.

Assim, o governo Chang enfrenta tremenda difficuldade ante a profunda scisão creada na esphera militar e a attitude francamente revoltosa dos communistas.

A demissão do vice-ministro de Commercio e Industria

Causas da renuncia

Tokyo, 28 (D.) — O sr. Kishi, vice-ministro de Commercio e Industria que foi intimado a pedir demissão do seu cargo, pelo sr. Kobayashi, titular da referida pasta, após demorada meditação, decidiu submetter-se á ordem do ministro Kobayashi.

Assim visitou hoje o sr. Akita, ministro dos Negocios Ultramarinos para que o referido titular participe ao sr. Kobayashi a sua intenção de renunciar ao cargo e seja acceita a sua demissão.

O vice-ministro Kishi resolveu renunciar ao cargo

Candidatos a aquelle posto

Tokyo, 28 (D.) — Em vista da grave repercussão causada nos circulos politicos pela desharmonia entre o ministro Kobayashi e o vice-ministro Kishi e os inconveniente surgidos na execução dos planos commerciaes, o sr. Kobayashi, titular da pasta de Commercio e Industria procurou o vice-ministro Kishi em sua residencia de Nakano e solicitou que este demittisse do seu cargo.

O sr. Kishi a principio não concordou com a ordem do ministro Kobayashi, mas levando em consideração a situação geral do paiz decidiu afastar-se da citada posição.

Para o successor do sr. Kishi, no cargo de vice-ministro de Commercio e Industria é provavel a ascenção de um dos nomes seguintes: srs. Kojima, chefe do Departamento do Commercio Exterior, Higashi, director do Instituto de Combustivel e Nikura, ex-director do Departamento de Fiscalização e Controlle de Preços.

Esboço da Litteratura Japoneza

YASUSHI URIU

(7)

Comparado com o "Nihon Shoki", que foi terminado em 720, no reinado da Imperatriz Gensho, é uma obra decididamente mais avançada em fórma, com narrações historicas mais detalhadas, posto que os mythos nella encontrados sejam os mesmos e considerados de uma mesma maneira. E' o trabalho conjuncto do Principe Toneri e Yasumaro, com a cooperação de varios outros sabios. A obra está escripta em chinez puro, terminando o seus registos com o reinado da Imperatriz Jito. E' uma coincidencia curiosa o facto de tanto o "Kojiki" como o "Nihon Shoki" serem escriptos nos reinados de duas Imperatrizes e estarem terminados com o reinado de duas outras Imperatrizes.

A Imperatriz Saiko é homenageada pela sua fundação do famoso "Salão de Ouro" do "Horyugi" em 607; foi tambem sob os seus auspicios que a confecção de imagens buddhistas recebeu rapido impulso. Do mesmo modo, no seu reinado, "a adoção consciente das instituições e das doutrinas politicas chinezas" principiaram, com introducção do calendario lunar, de um codigo de etiquetta, de troca de visitas e assim por diante.

No reinado da Imperatriz Jito, Kakinomoto-no-Hitomaro, como já foi dito, appareceu escrevendo poemas japonezes. Elle floresceu como o maior dos poetas do tempo. De facto Shaskespeare viveu no reinado da rainha Elizabeth, porém os livros eram queimados e os litteratos enterrados vivos por um Imperador Chinez, Shih Huang Li, que prodigalizava dinheiro e poder humano na construcção da Grande Muralha que não serviu para nenhum fim util.

Nesta época o engenhoso caracter da nação que nunca se contentou a si mesmo com os meios emprestimos veio a clamar a sua propria justificação nas actividades litterarias e estheticas. Esta tendencia como ja foi dado a conhecer se tornou bastante notavel com a creação da arte buddhista, porém logo se tornou mais do que sufficiente para o requinte da poesia. A fórma de poesia nativa, crua, que foi exteriorização directa de um espasmodico desejo de cantar, foi agora cultivada com mais cuidados rhetoricos.

As festas do Anno Novo no Japão

As festas do Anno Novo, no Japão, são comparaveis ás do Natal do Occidente. Durante tres dias (de 1 a 3 de Janeiro). E' o acontecimento mais alegre e festivo para a nação inteira. Todas as classes sociaes festejam. Todas as casas são enfeitadas, tanto no interior como no exterior. Os *kadomatsu* enfeitam as entradas de todas as residencias. O povo veste a melhor vestimenta de festa e faz e recebe visitas. Cumprimentos os mais amaveis são trocados. Guloseimas *ozoni*, especie de sopa contendo pasta de arroz e legumes e o *otoso*, *saké* assucarado.

Todo o paiz festeja o Anno Novo, engalanado e de coração aberto. Todos se congratulam pela entrada de um novo ano, com o classico *"Akemashite Omedetô gozaimasu"*.

Annuncios efficientes?
Só no "BRASIL ASAHI", jornal de maior circulação na Colonia Nipponica
Tel. 7-3326

O Coração do Lago Oeste

Telhados de telhas azues e pilares de cor de persimões brincam de esconder entre as arvores temos visões delles dispersos aqui e alli entre as montanhas.

O pavilhão na ilha, no centro do lago parece estar perto mas está mais longe do que parece.

Ha dois barqueiros, um na prôa e outro na ré, que movem os remos numa synchronisação perfeita e deslizamos rapidamente.

Nakamura e Harada pedem aos barqueiros que os deixem experimentar um pouco mas os seus esforços só fazem o bote girar em circulo. Os dois soldados sorrient de enfado e recriminam o bote, dizendo, "Besta!". Mas por mais impacientes que fiquem o bote se recusa a mover e para tornar a cousa peior, começa a andar para traz. Elles já estão um pouco tontos.

Muitos botes tinham começado a apparecer no lago e os barqueiros tinham começado o negocio, cobrando dez cents por pessôa e nós estavamos aproveitando o nosso dia de folga para ficar na moda.

Ouvimos dizer que existiam para alugar botes bonitos para passeio mas não se os viam.

Os unicos botes são os de fundo chato dos pescadores que talvez achem esse negocio muito mais lucrativo do que o seu negocio habitual. Botes cheios de soldados vêm-se no reflexo brilhante do sol da primavera.

Os homens já estão absortos no seu divertimento, rindo e cantando e as suas vozes alegres fluctuam sobre as aguas e quando os seus botes encontram, gritam saudações desconnexas como, "Ei, camarada está gozando? Aproveita!" e agitam as mãos.

Tinhamos levado tres garrafas de meio galão, de "saké"; dois já estavam vazios e os restos de carne enlatada espalhados. Yamada que não é bebedor resistente, já está ressonando contra o lado do barco. Tamada diz maliciosamente "Aquella cara de "Cavallo Castanho" fica mais comprida quando elle dorme", e pegando uma garrafa vazia, bate no fundo com a palma da mão, como se tocando tambor. "Oh, chefe da secção", diz estreitando os olhos de alegria, "isso é mesmo primavera!" "Olhe, o que é aquillo?" grita Harada.

Flor e Soldados

(HANA TO HEITAI)

ROMANCE 42 Ashihei Hino

Passamos pela torre que commemora uma grande exposição e ao longo de uma collina. Na sombra da galeria de arte, para onde Harada apontava, duas sombras escuras passam sob os beiraes e desapparecem de vista. Parecem dois macacos.

Dirigimo-nos para o pavilhão do lago. "Quando mais olho, mais ridiculo elle se torna", diz Nakamura, que está folheando uma revista. Não póde deixar de rir e continuar: "Tamada ficou famoso pois mesmo as revistas chinezas fazem menção delle".

"Não diga bobagem", diz Tamada furioso, "Voce me faz sentir mal" Mas elle tambem parece divertido e acrescenta: "Elles estão procurando me fazer de bobo."

Estavam se referindo a uma revista illustrada anti-nipponica, chamada "O Oriente Illustrado". O cabo Aoyagi nos trouxera, dizendo que a encontrara no mercado de ladrões. Na primeira pagina havia um retrato de Tamada, segurando Taro entre os joelhos. Era sem duvida o retrato que fôra tirado pelo sub-tenente Nakayama, num dia de nevada, no jardim.

Nakayama dera a cada um de nós uma copia do retrato. E esse retrato apparece ostensivamente numa revista anti-nipponica e além do mais, sob elle está impresso uma legenda verdadeiramente monstruosa. Os soldados leram essa suggestão incrivel vezes e vezes e tão absurda que não puderam deixar de rir della. Taro tambem viu-a mas observou que era propaganda muito habil e riu-se.

Ver os homens tão felizes enquanto vogam pelo lago, faz-me muito contente. Mas ha muitas cousas occupando o meu espirito e não posso deixar de ficar quieto e sentado num lado do barco, olhando as ondulações da agua.

Essa manhã ouvira que Su fôra alvejado e quasi perdera a vida. Um jovem chinez trouxera-me uma carta do meu amigo. O incidente occorrera uns dias antes, não muito tarde da noite. Su fôra ao encontro de sua irmã, depois de terminado o seu trabalho no "Mundo Grande" e tinham jantado juntos e depois partido para casa.

Quando chegaram a uma esquina alguem disparou um fusil do escuro. Mas Su estava preparado e immediatamente puxou um revolver do bolso e devolveu o fogo. Mas o assassino disparou tres vezes e quando Su cahiu ferido, uma sombra escura fugiu sob a protecção dos beiraes de uma casa. Su recebeu uma bala no hombro direito mas Chieng Lien estava illesa

A cidade estava no escuro, as pessoas todas recolhidas e creio que cerraram mais as portas ao ouvirem o tiroteio. Ching Lien tirou uma tira do seu vestido e envolveu a ferida do seu irmão e depois de olhar cuidadosamente em volta trouxe-o a salvo para casa. "A ferida não é séria mas estou confinado ao leito", Su escreveu. "Não sei quem me atirou. Mas deve ser um dos inimigos que estão determinados a frustar os nossos esforços para restabelecer o paiz. Guardarei o meu ferimento como uma lembrança importante". Concluiu a sua carta com'Antes sentia as minhas resoluções vacilarem mas nem tinha na bala entrado no meu corpo quando experimentei um resolução inabalavel e não fiquei mais receioso da morte. Eu era muito amigo de Su mas nunca estivera em sua casa pois sempre me visitava no alojamento e por isso não sabia onde morava. Ouvi dizer que a sua casa está situada nos fundos da rua do Grande Portão Leste mas apesar de ter procurado não consegui encontral-a.

O jovem chinez que trouxe a carta disse que elle tambem não conhecia a casa. Quando o interreguei cuidadosamente contou-me que encontrara uma jovem na rua, que ella lhe déra algum dinheiro e lhe dissera para trazer a carta. Podia ver que a carta não era com a letra de Su. De facto não poderia escrever com um ferimento no hombro direito. Devera ser Chieng Lien quem escrevera. Wang talvez conheça o endereço de Su e pretendia perguntar-lhe. Mas até aqui negligenciei disso.

Sentado nesse bote posso visualisar claramente Su deitado na cama, na sua casa humilde, as manchas de sangue empapando o branco das ataduras. A visão delle está clara ante os meus olhos e traz dôr ao meu coração.

Takuwan tambem prende os meus pensamentos. Desde o dia que desappareceu, nunca sahiu do meu pensamento e ha dias soube que fôra aprisionado, pela policia militar.

Continúa